

お互いに考えを深め、自分の言葉で表現できるような交流にしよう

自分が話すとき

□自分の言いたいことが伝わったか確認する。

→「わたしの言いたいこと分かった？」

□伝わっていないと分かったら…

言い換えたり、付け足したりして説明をし直す。

→「いや、そうではなくて、わたしが言いたいのは…」

□自分の考えがまとまっていないときは、どこでつまづいているのか、何に悩んでいるのか伝える。

→「～と思うのだけれど、どこを根拠として説明したらいいか分からない。」

→「～と言いたいんだけど、どんな言葉で表現したら伝わるかな。」

相手の話を聞くとき

□相手の伝えたいことをより分かりやすい洗練された言葉で言い換えたり、補足したりして確認する。

→「つまり、あなたが言いたいのは～ということ？」

□相手の根拠を明確にする。

→「どこからそう考えたの？」「どうしてそう言えるの？」

□話し手の考えが自分と異なるとき、異なる考えについてどう思うか聞く。

→「その考えと反対のことも言えると思うけれど、反対の考えについてどう思う？」

□相手の言っていることで不自然な点を指摘する。

→「××という部分から△△と考えたと言っていたけれど、××から△△とは考えられないのでは？」

→「××ということとあなたの主張はつながらないのでは？」

「なぜなら～というところが説明できない、矛盾すると思う。」

□相手の言っているところの弱い部分を明確にする。

→「ということは、～とも言えてしまうよ。」

→「それは、場合によっては～ということもあり得るということ？」

話をまとめるとき : それぞれの考えを確認した後で、共通点と相違点を整理してから…

□共通点をまとめるとき

→「～という点では、同じだね。」

□相違点を整理して、取捨選択するとき

→「～というところはいいと思うけれど、～は違うと思う。」

→「〇〇さんの～という考えは～という部分に注目して根拠を挙げているけれど、●●さんの～という考えには根拠がないのでは？」

□いくつかの考えを統合できるとき

→「〇〇さんの～という考えと、●●さんの～という考えを生かすと、もっと説得力が増すのでは？」

討論の進め方 (20 分)

あくまで中心となる人なので、それ以外の人フォローするのはOK。臨機応変に！

役割分担

2
分
×
2

1. 最初の主張。(それぞれ2分以内)

① ()

— 作戦会議。反論を考える。(2分)

相手の主張のどこに突っ込むか。そのために相手の主張は
しっかりとメモしておく。—

メモ ()

2
分

3
分
×
2

2. 反論をする。(それぞれ3分以内)

② ()

※反論(質問)されたことに対して答える時間も含まれます。

4
分

3. 聴衆との質疑応答。(どちらも合わせて4分以内)

③ ()

※聞いている人はどちら側への質問か伝えてから質問をする。

③ ()

2
分

— 最後の主張について考える。相手側の主張、反論・質問された
ことも含めてまとめる。最後の一押し。(2分) —

1
分
×
2

4. 最後の主張。(それぞれ1分以内)

④ ()

5. 聴衆による判定。

※なぜその判定を下したか理由を聞かれるので、討論中はノートにメモをとること!

討論中のメモ欄

討論の進め方 (16 分)

あくまで中心となる人なので、それ以外の人フォローするのはOK。臨機応変に！

役割分担

1分
×
2

1. 最初の主張。(それぞれ1分以内)

① ()

メモ ()

— 作戦会議。反論を考える。(2分)

相手の主張のどこに突っ込むか。そのために相手の主張はしっかりとメモしておく。—

2分

2分
×
2

2. 反論をする。(それぞれ2分以内)

② ()

※反論(質問)されたことに対して答える時間も含まれます。

メモ ()

4分

3. 聴衆との質疑応答。(どちらも合わせて4分以内)

③ ()

※聞いている人はどちら側への質問か伝えてから質問をする。

メモ ()

2分

— 最後の主張について考える。相手側の主張、反論・質問されたことも含めてまとめる。最後の一押し。(2分) —

相手側の主張・反論・聴衆との質疑応答をふまえて、主張をまとめる。

1分
×
2

4. 最後の主張。(それぞれ1分以内)

④ ()

5. 聴衆による判定。

※なぜその判定を下したか理由を聞かれるので、討論中はノートにメモをとること!

討論中のメモ欄